

## 令和2年度事業報告書

令和2年度は世界的な新型コロナウイルス感染症拡大により、長期にわたり人の動きの抑制や集会の自粛が求められ、社会経済活動が停滞し、協会が実施する各種事業や研修会等の開催にも多大な影響を与えました。さらに、観光産業の停滞や飲食店への営業時間短縮及び休業要請から、畜産物の需要は大幅に減少し、子牛価格や枝肉価格等が急落しました。その後の経済活動の再開に伴い、一時的に回復基調にあるものの未だ予断を許さない状況が続いており、生産性向上に裏打ちされた足腰が強くかつ柔軟性のある和牛経営の確立が重要となっています。また、TPPや日欧EPA、日米貿易協定など市場開放が加速していく中で、国の施策に基づく日本農産物の輸出が促進され、畜産物とりわけ和牛肉の輸出実績は好調さを堅持しており、更なる生産効率の向上による和牛の増頭と品質の斉一性、魅力発信が求められています。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響や地政学的な懸念など世界経済を取り巻く環境は一層不透明感を増しており、今後の動向については引き続き注視が必要です。

さて、新たな「食料・農業・農村基本計画」が策定され、「家畜改良増殖目標」が見直されました。その中では、改良の成果として和牛の能力や生産性、品質等の大幅な向上が認められ、次なる目標として、いわゆる「強み」のある畜産物の生産や消費者ニーズの多様化に対応できる「新たな魅力」の創造が基本計画に盛り込まれました。協会では、時代の要求に柔軟に対応しうる新たな和牛改良の方向性を目指し、「和牛新時代 地域かがやく和牛力」という改良上の目標を盛り込んだ開催テーマを掲げた第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会に向けて、鹿児島県実行委員会とともに開催準備に取り組みました。

このような中、登録事業については、関係機関並びに関係者のご理解とご尽力により、基本本原登録頭数78,913頭（前年対比103.3%）と2,488頭増え、増頭を維持することができました。また、高等登録については1,610頭と前年対比99.6%となり前年をわずかに下回りましたが、子牛登記頭数については509,553頭（前年対比102.2%）と受精卵産子の増加も相俟って7年ぶりに50万頭を超えました。また、昨年度から登録事務の利便性とシステムの汎用性を高めた新しい支部端末システムの構築を進め、準備体制が整ったところから運用を開始し、事務効率化に努めました。

育種改良事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画していた育種組合現地検討会等の開催を一部見送りましたが、各組合では継続して育種牛の認定や地域の特色ある牛群造りに取り組まれました。また、種雄牛産肉能力検定現場後代検定法においては、育種価を活用した選抜効果により、全国的にも高いレベルの枝肉成績を収める種雄牛が安定的に造成され、産肉能力の改良成果は確実なものとなりつつあります。この「強み」を活かし、さらに、新たな和牛肉の価値観の醸成を狙いとして、第11回全国和牛能力共進会若雄の部出品種雄牛を中心と

した現場後代検定合同調査会を京都市において開催する計画でしたが、コロナ禍の中では中止せざるを得ませんでした。一方で、遺伝的能力評価におけるゲノミック評価の検証作業については、各県と共同で調査検討を行いました。ゲノミック評価の特性を活かした利用方法を検討し、改良対象形質を選択しながら、遺伝的多様性にも配慮した形で、育種改良へ適用する手法の検証が肝要です。また、全国で繁殖成績優秀な和牛改良組合を20組合表彰し、効率的な和牛生産の振興を図りました。なお、ブロック別の改良組合育成強化研修会や女性部研修会については、開催を見合わせることにしました。

10月には和牛遺伝資源の不正な流通を防止し、知的財産としての保護を目的とした「家畜改良増殖法の一部を改正する法律」及び「家畜遺伝資源に係る不正競争の防止に関する法律」が、同時に成立、施行されました。引き続き、和牛遺伝資源の適正な流通管理と保護に努めていくことが重要であり、優良和牛遺伝子保留中央協議会や和牛遺伝資源国内活用協議会とも連携をとりつつ、会員に対して改めて理解と協力を求めました。

技術者等養成研修事業については、感染防止対策をとりながら、認定講習会は一部地域で実施し、また、和牛入門ゼミナールについては講義の部と実習の部を併せて開催するなど実施形式を変更して対応しましたが、ブロック別地方審査委員会や育種改良問題セミナー等については中止としました。

運営管理の部については、会員数は45,473名（前年対比96.9%）で1,436名の減となり、高齢化並びに担い手不足による会員の減少は引き続き進んでおり、担い手確保は喫緊の課題となっています。この他の事業につきましては、会員はじめ各支部・支所並びに委託団体の協力により可能な限り実施に努めてきました。

## I. 事業の部

### 1. 登録・検定事業

#### 1) 登記・登録頭数

本年度の登録頭数は総計80,523頭（前年度比103.1%）、前年度実績比2,482頭の増加でした。

種 類	基本登録 (雄・雌含)	本原登録 (雄・雌含)	高等登録 (雄・雌含)	計 (前年度比)
黒毛和種	46,012	32,772	1,610	80,394 (103.2)
褐毛和種	99	15	—	114 (86.4)
無角和種	15	—	—	15 (136.4)
計 (前年度比)	46,126 (103.4)	32,787 (103.0)	1,610 (99.6)	80,523 (103.2)
前年度実績	44,591	31,834	1,616	78,041

子牛登記頭数は509,553頭（前年度比102.2%）で、前年度実績比11,103頭の増加でした。また、血統証明書発行件数は3,646件（前年度比116.2%）でした。

## 2) 種雄牛の各種検定及び遺伝子型調査について

本年度実施された種雄牛の各種検定並びに遺伝子型調査は次のとおりでした。

なお、遺伝子型調査においては、和牛DNAデータベースを活用したSNP情報による遺伝子型調査を実施しました。

	今年度実績	前年度実績	前年度比
産子検定	0 件	0 件	( 0.0%)
産肉能力検定 直接法	88 件	84 件	( 104.8%)
〃 間接法	0 件	0 件	( 0.0%)
現場後代検定法	98 件	101 件	( 97.0%)
遺伝子型調査	76,118 件	66,922 件	( 113.7%)
〃 (再交付)	1,873 件	1,662 件	( 112.7%)
〃 (不良形質)	570 件	467 件	( 122.1%)

## 3) 現場後代検定合同調査会の開催について

第11回全国和牛能力共進会の第1区(若雄)関連牛からの出品を主として、これらの種雄牛の造成の経緯を確認するとともに、牛肉の食味性を含む産肉能力を早期に確認する場として計画していた現場後代検定合同調査会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。なお、各県で開催された県内版現場後代検定枝肉調査会に必要に応じて助成並びに指導を行いました。

## 2. 育種改良事業

### 1) 集団育種事業の推進と現地調査及び指導・援助

育種組合の現地検討会及びミニ現地検討会を以下のとおり実施し、遺伝的多様性の維持・拡大を狙いとした系統再構築の進捗状況の確認を行い、育種候補牛の選定、計画交配など、各育種組合の実情を踏まえて調査、指導を行いました。育種牛認定頭数は雄27頭、雌584頭(新規425頭、再認定159頭)となりました。

いわて和牛中央(11/4)、みどりの(9/9)、登米(9/10)、栗原(9/11)、淡路(12/11)、城崎(8/18)、美方郡(8/17)、仁多・能義(10/6)、能義(7/31)

### 2) 和牛改良組合の育成強化

新規認定並びに合併や地域拡大の申請のあった組合について、和牛改良組合強化委員会においてその内容を審議し、認定を行いました。認定和牛改良組合数は446組合となりました。効率的な和牛生産が求められている中で、改良組合における分娩間隔短縮への取り組みが重要となっています。これらの取り組みが改良組合の活動強化と改良組織の育成強化、繁殖基盤の拡充につながるよう、改良組合に関する行事を以下のとおり実施しました。

#### (1) 和牛改良組合育成強化研修会・和牛改良組合女性部研修会の開催

本研修会については、講義や事例発表により、和牛改良の知識の取得と和牛改良組合の活動の活性化、個々の農業経営強化とともに、改良組合間の交流を深め

ることを目的として開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止しました。

(2) 支部主催和牛振興研修会への協力

本会支部主催の和牛振興研修会の開催に対し、合計6回の開催助成と講師の派遣を行いました。

(3) 認定和牛改良組合の表彰

「認定和牛改良組合および育種組合表彰規程」に基づき、改良組合活動に優れ、顕著な功績があったと認められる組合に対して表彰を行いました。今年度は、改良組合として繁殖成績優秀な組合を対象とし、分娩間隔実績値の部15組合、分娩間隔・飼養管理技術の部5組合が表彰されました。

3) 各種遺伝情報の解析とその有効利用について

本年度も各種遺伝情報の解析とその利用システムの普及に努めました。産肉能力については、支部独自の情報収集と併せて、国の行う産肉情報収集にかかわる事業について取り組み、育種価評価事業に活用しました。また、種牛能力については、分娩間隔育種価情報の提供を推進しました。牛肉の美味しさに関する調査については、「牛肉のうま味成分高付加価値化推進調査研究事業」等を利用して、牛肉の一般成分検量線の作成を行うことができました。さらにゲノミック評価については、各道府県と協力し検証作業に努めました。また、SNP情報を用いた遺伝的多様性の検討や経済形質にかかわる育種・改良方法の検討を行うために和牛DNAデータベースの構築に努めました。

なお、本年度は産肉情報入力0件（本会入力のみ、その他収集枝肉情報98,349件）、情報解析（年間）15件、情報解析（1回）39件でした。

4) 優良和牛遺伝子の保留強化

「家畜改良増殖法の一部を改正する法律」及び「家畜遺伝資源に係る不正競争の防止に関する法律」等が施行されたことを踏まえ、優良和牛遺伝子保留中央協議会との連携を強化し、生産者・関係者が一丸となって和牛遺伝資源の適正な流通管理と保護に努めました。また、和牛遺伝資源国内活用協議会の活動にも協力し、和牛遺伝資源の重要性について啓発・普及活動に取り組みました。

5) 各種委員会について

中央審査委員会	令和2年8月21日（※書面開催）
育種推進委員会	令和2年6月25日（※書面開催）
産肉能力検定委員会	令和3年1月22日（※書面開催）
産肉能力検定小委員会	令和2年5月8日、令和2年9月28日
和牛改良組合強化委員会	令和3年3月15日

### 3. 技術者等養成研修事業

#### 1) 地方審査委員認定講習会の開催について

各ブロック内の支部の協力により下記のとおり2会場で開催し、審査委員の養成と登録業務の円滑化に努めました。なお、中部・中四国ブロック及び九州ブロックについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止しました。

回次	期間	会場	受講者数
第214回	9/23～9/25	北海道 上川郡 新得町 北海道立総合研究機構 畜産試験場	26名
第215回	9/30～10/2	岩手県 岩手郡 雫石町 JA全農いわて中央家畜市場	7名

#### 2) 登記検査委員認定講習会の開催について

本部主催の登記検査委員認定講習会について下記のとおり実施しました。

回次	期間	会場	受講者数
第19回	11/4～11/6	兵庫県 加西市 神戸大学大学院農学研究科 附属食資源教育研究センター	25名

#### 3) 和牛入門ゼミナールの開催について

和牛登録業務の初心者、新任者を対象に登録業務・審査の周知と和牛改良の基礎知識の修得を目的として開催を計画していましたが、改良の基礎研修にかかわる「講義の部」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止し、審査・登録実務研修にかかわる「実習の部」において、講義の部の内容を含めて開催しました。

##### 審査・登録実務研修

実習の部	期間	会場	受講者数
東日本	10/20～10/23	福島県 西白河郡 独立行政法人家畜改良センター中央畜産研修施設	17名
西日本	11/17～11/20	岡山県 真庭市 JA全農おかやま総合家畜市場	22名

#### 4) 支部・支所職員事務研修会の開催について

登録支部・支所・委託団体の登録担当者を対象者として、登録事務を正確並びに円滑に遂行するための研修を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止しました。

#### 5) 和牛育種・改良問題セミナーの開催について

育種改良にかかわる支部・支所・委託団体関係者を対象としたセミナーの開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止しました。

6) 全国支部長会、地方ブロック会議の開催について

(1) 全国支部長会並びに登録協議会の開催

全国支部長会並びに登録支部主任者会議 令和2年12月4日 (第74回)

登録協議会 令和3年3月15日 (第74回)

(2) 地方ブロック会議の開催について

和牛登録事業の円滑厳正な遂行、和牛の改良増殖に資することを目的として、ブロック毎の開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止しました。

#### 4. 普及啓発事業

1) 第12回全国和牛能力共進会について

第12回全共第3回全国連絡協議会(3/15)を開催し、家畜衛生対策や最終比較審査会場の施設整備方針、今後のスケジュール等について説明を行いました。

2) 各道府県共進会について

各道府県で開催される共進会に対して、派遣申請に応じて審査委員の派遣を行いました。

3) 高校生を対象とした家畜審査競技会について

各県単位で取り組まれる家畜審査競技会に対して審査委員の派遣等の支援を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり今年度は支援を行うことができませんでした。

4) トレーサビリティシステムと登記・登録情報の連携

家畜改良センターの個体識別情報検索サービスと連携する登記・登録牛確認システムを運用しました。また、畜産物輸出促進協議会と連携をとり、トレーサビリティシステムと登録情報、枝肉格付情報からなる和牛品質情報システムの運用に協力しました。

5) 各種刊行物

(1) 登録簿 10巻(基本5巻、本原4巻、高等1巻)

※電子媒体(DVD)にて発行

(2) 和牛誌 4冊(71巻1号~4号)

(3) 和牛だより 1回(第50号)

(4) 和牛産肉能力検定報告書

(令和元年度直接法、令和元年度承認分現場後代検定法)

#### 5. その他

畜産生産力・生産体制強化対策事業のうち家畜能力等向上強化推進事業(多様な改良情報の収集・分析等対策)を利用し、枝肉データ収集が行われ、産肉能力育種価評

価に活用しました。また、国の施策に基づく「地域固有系統の再構築支援対策」や、「肉用牛の生産性評価精度向上推進事業」、「牛肉のうま味成分高付加価値化推進調査研究事業」等、和牛の登録事業と改良に資する事業を受託し、実施しました。

## II. 運営管理の部

### 1. 会員および賛助会員について

会員数は 45,473 名（前年度比 96.9%）、前年度実績比 1,436 名減少しました。賛助会員については、中央団体 12 団体、地方団体 42 団体、個人 22 名でした。

### 2. 会議等の開催について

#### 1) 第 74 回通常総会 令和 2 年 6 月 26 日

##### [報告事項]

- 第 1 号報告 令和元年度(平成31年度)事業成績報告
- 第 2 号報告 令和 2 年度事業計画報告
- 第 3 号報告 令和 2 年度収支予算報告

##### [提出議案]

- 第 1 号議案 令和元年度(平成31年度)財務諸表承認の件
- 第 2 号議案 令和 2 年度会費並びに登録関係諸料金徴収方法承認の件
- 第 3 号議案 令和 2 年度役員報酬承認の件
- 第 4 号議案 役員改選の件
- 第 5 号議案 付帯決議の件

#### 2) 理事会

第 200 回 令和 2 年 6 月 3 日（理事会の決議があったものとみなされた日）

##### [審議事項]

- 第 1 号議案 令和元年度（平成31年度）事業報告について
- 第 2 号議案 令和元年度（平成31年度）財務諸表について
- 第 3 号議案 役員改選について
- 第 4 号議案 京都府支部（従たる事務所）の移転について
- 第 5 号議案 第74回通常総会の開催について
- 第 6 号議案 登録業務負担金及び改良事業負担金について
- 第 7 号議案 支部内部規程の改正について
- 第 8 号議案 中央審査委員会委員の委嘱等について

##### [報告事項]

- 1) 令和元年度（平成 31 年度）会員並びに登録関係統計
- 2) 支部長の交代について
- 3) 令和 2 年度のおもな行事計画について

第201回 令和2年6月26日

[審議事項]

- 第1号議案 会長理事、副会長理事、専務理事の互選について
- 第2号議案 顧問について
- 第3号議案 令和2年度理事報酬の決定について
- 第4号議案 和牛改良ことに登録事業貢献者に対する感謝状贈呈について

第202回 令和2年11月25日

[審議事項]

- 第1号議案 令和2年度上半期事業実施状況について
- 第2号議案 令和3年度事業計画骨子（案）について
- 第3号議案 令和2年度認定和牛改良組合表彰について
- 第4号議案 第13回全国和牛能力共進会開催地の決定について
- 第5号議案 給与規程の改正について

[報告事項]

- 1) 業務執行状況報告
- 2) 和牛遺伝資源の流通・管理を巡る情勢について
- 3) 令和元年度期末監査に基づく監事指摘事項の回答について
- 4) 支部長の交代について

第203回 令和3年3月23日

[審議事項]

- 第1号議案 令和3年度事業計画について
- 第2号議案 令和3年度収支予算について
- 第3号議案 パートタイム労働者の就業規則及び慶弔金贈与規程の一部改正について

[報告事項]

- 1) 業務執行状況報告
- 2) 令和2年度中間監査に基づく監事指摘事項の回答について
- 3) 第12回全国和牛能力共進会について
- 4) 支部事務所の住所表記の変更について

3) 監事会 1回（6月26日）

[審議事項]

- 第1号議案 令和2年度監事報酬の決定について

4) 監査会 2回（6月1日・2日、11月24日）

5) 公認会計士による会計指導 3回（4月24日、6月18日、3月25日）

6) 支部評議会、支部調査会、支所評議会、支所調査会等開催



#### 4. 理事及び監事の氏名等

役職名	氏名	就任年月
会長理事（常勤）	向井 文雄	H20.8
副会長理事（非常勤）	高橋 修	H26.6 <sup>※1</sup>
専務理事（常勤）	穴田 勝人	H28.7
理事（非常勤）	秋元 勝彦	R2.6
理事（非常勤）	後藤 元夫	R2.6
理事（非常勤）	木内 康文	H30.6
理事（非常勤）	渡部 幹雄	H20.7
理事（非常勤）	川崎 裕司	H28.7
理事（非常勤）	永山 芳宏	R1.6
理事（非常勤）	平木場 宗一	H20.7
理事（非常勤）	鮫島 忠雄	H30.6
監事（非常勤）	高嶺 英康	H22.7
監事（非常勤）	渡部 俊男	R2.6

※1 理事就任 H23.7

## 5. 支部・支所一覧

支部名	所在地
青森県	上北郡七戸町字鶴児平 72-1
岩手県	岩手郡雫石町七ツ森 20-1
宮城県	遠田郡美里町北浦字生地 22-1
秋田県	秋田市中通 6 丁目 7 番 9 号 畜産会館 6F
山形県	天童市長岡北 4-7-30
福島県	郡山市田村町金屋字川久保 23 番地
茨城県	常陸大宮市鷹巣 1836-1
石川県	金沢市古府 1 丁目 217 番地
福井県	福井市高木中央 2-4202 県経済連総合施設センター
岐阜県	岐阜市下奈良 2-2-1 県福祉農業会館
三重県	津市一身田平野字護摩田 6
京都府	京都市南区東九条西山王町 1 番地 JA 京都ビル
兵庫県	神戸市西区玉津町居住 88 番
島根県	松江市殿町 19-1 島根県農林会館別館 3F
岡山県	真庭市草加部 1810
徳島県	徳島市北佐古一番町 61-11JA 会館分室
佐賀県	多久市北多久町小侍 1951-1
長崎県	長崎市銭座町 3-3
熊本県	熊本市東区桜木 6-3-54 県畜産会館
大分県	大分市古国府六丁目 4 番 1 号 全農大分県本部別館 2 階
宮崎県	宮崎市広島 1-13-10 県畜産会館
鹿児島県	鹿児島市鴨池新町 15 JA 鹿児島県会館 7F

支所名	所在地
県北	平戸市田平町大久保免 1544 JA ながさき西海 平戸口中央家畜市場内
壱岐	壱岐市芦辺町国分東触 706 JA 壱岐市畜産部内
五島	五島市吉久木町 938 JA ごとう畜産事業所内
宮崎中央	宮崎市大字跡江土手外 198 JA 宮崎中央内
南那珂	串間市大字大平 5677 JA はまゆう内
都城	都城市上川東 3-4-1 JA 都城内
西諸県	小林市大字南西方 1112 西諸県都市畜連内
児湯	児湯郡新富町大字新田北畦原 21696-1 児湯郡都市畜連内
東臼杵	延岡市櫛津町 3060 東臼杵郡都市畜連内
西臼杵	西臼杵郡高千穂町大字三田井 1 番地 JA 高千穂地区内
曾於	曾於市大隅町岩川 5591-1 JA ぞお鹿児島畜産部内
大島	奄美市名瀬永田町 17-3 大島支庁農政普及課内

## 6. 事業委託団体一覧

道県名	団体名	所在地
北海道	一般社団法人北海道酪農畜産協会	札幌市中央区北四条西1-1 JA北農ビル13F
栃木県	公益社団法人栃木県畜産協会	宇都宮市平出工業団地6-7 県畜産会館内
群馬県	公益社団法人群馬県畜産協会	前橋市亀里町1310番地
埼玉県	一般社団法人埼玉県畜産協会	熊谷市須賀広784
千葉県	千葉県肉牛生産農業協同組合	千葉市若葉区若松町432-35 県家畜商協同組合内
東京都	全国農業協同組合連合会東京都本部	立川市柴崎町3-5-24
山梨県	山梨県家畜改良協会	中巨摩郡昭和町西条3852-3 県酪農会館内
新潟県	全国農業協同組合連合会新潟県本部	新潟市西区山田2310番地15
富山県	公益社団法人富山県畜産振興協会	富山市手屋3-10-15 県獣医畜産会館内
長野県	全国農業協同組合連合会長野県本部	長野市大字南長野北石堂町1177-3
神奈川県	神奈川県肉用牛協会	平塚市土屋1275-1 全農神奈川県本部畜産部
静岡県	静岡県経済農業協同組合連合会	静岡市駿河区曲金3-8-1
愛知県	愛知県和牛改良協会	名古屋市中区丸の内3-4-10 大津橋ビル
滋賀県	一般社団法人滋賀県畜産振興協会	近江八幡市鷹飼町北四丁目12番地2
奈良県	奈良県農業協同組合	奈良市大森町57-3 農協会館
和歌山県	公益社団法人畜産協会わかやま	和歌山市美園町5-1-1 和歌山県JAビル5F
大阪府	大阪畜産農業協同組合	堺市南区畑1627
鳥取県	公益社団法人鳥取県畜産推進機構	鳥取市末広温泉町723 JA会館内
広島県	全国農業協同組合連合会広島県本部	三次市西酒屋町大久保513
山口県	公益社団法人山口県畜産振興協会	山口市小郡下郷2139番地
香川県	香川県農業協同組合	高松市一宮町字刷塚1431-1
愛媛県	公益社団法人愛媛県畜産協会	松山市千舟町6-5-9
高知県	一般社団法人高知県畜産会	高知市五台山5015-1
福岡県	公益社団法人福岡県畜産協会	福岡市博多区千代4-1-27 県自治会館4F
沖縄県	公益社団法人沖縄県家畜改良協会	島尻郡八重瀬町字外間106-2

## Ⅲ. 収益事業の部

登録会館の賃貸業として収益事業を実施しています。賃貸契約については、1階入居者と賃貸契約を締結しています。また、地下1階及び2階については、随時会議室として貸し出しを行いました。

## 令和2年度事業報告の附属明細書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。